

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	極域プランクトンーその特質の理解ー
研究代表者	原田 尚美（国立研究開発法人海洋研究開発機構・地球環境観測研究開発センター・研究開発センター長代理）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者のこれまでの研究における北極海のプランクトンの脆弱性の解明やマイクロ X 線 CT (MXCT) による分析技術の高度化などの業績は、国際的にも高い評価を受けており、海外の研究機関からも注目されている。</p> <p>地球温暖化に伴う海洋酸性化の進展は、北極域の海洋生態系に与える影響が極めて急激であるとみられ、その実態把握は国際的にも喫緊な課題となっている。</p> <p>応募者らは上記の MXCT をプランクトンの受ける海洋酸性化の影響を評価する世界標準の手法とすることを目指しており、実現すれば国際的なモニタリングが大きく進展するものと期待できる。</p> <p>このように、本研究は当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>